

尿酸降下薬ドチヌラドの腎機能変化に関する検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センター病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022 年 1 月 13 日 ～ 2022 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

尿酸再吸収阻害薬ドチヌラドを投与された慢性腎臓病患者の腎機能変化に関する検討

〔研究目的〕

慢性腎臓病は腎障害や腎機能の低下が持続する慢性疾患であり、進行すると末期腎不全に至り、透析療法や腎移植術が必要となります。近年発売されたドチヌラドは近位尿細管における尿酸の再吸収を担う URAT1 を選択的に阻害することにより、キサンチンオキシドリダクターゼ阻害薬では達成しえない痛風腎の進展抑制をなし得る可能性が高いと考えられます。よって、慢性腎臓病患者において、新しい尿酸降下薬ドチヌラドの使用と腎機能の推移を後ろ向きに検討いたします。

〔研究意義〕

慢性腎臓病における腎機能の低下抑制は末期腎不全の発症、更には末期腎不全関連の合併症発生も予防することが可能であります。更には医療費抑制につながり、本研究の社会的貢献は高いと考えられます。

〔対象・研究方法〕

帝京大学ちば総合医療センター内科にて 2021 年 4 月 1 日より 2022 年 11 月 30 日までに高尿酸血症合併慢性腎臓病患者において尿酸降下薬ドチヌラドの使用された方を対象とします。

血液検査（血清クレアチニンや尿酸値など）や尿検査（蛋白定量など）などに関して、診療録より後方視的に調査し、腎機能の推移を検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター第三内科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は匿名化し、帝京大学ちば総合医療センター第三内科で厳重に管理いたします。研究終了後は帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管の後、破棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 寺脇 博之 職名 教授
所属： 帝京大学ちば総合医療センター第三内科
住所： 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 3426-3
TEL: 0436-62-1211（代表）、メールアドレス：terawaki@med.teikyo-u.ac.jp